

2005年度：学会発表リスト

日本セラミックス協会年会

- 1) 相澤守・湯本みどり、“*a*面を多く露出したアパタイトセラミックスの作製とその表面電位”、日本セラミックス協会年会、岡山大学、日本セラミックス協会、2005.3.22-24
- 2) 井桁直子・相澤守、“高強度化アパタイトファイバースキャフォールドの作製とその評価”、日本セラミックス協会年会、岡山大学、日本セラミックス協会、2005.3.22-24
- 3) 平本篤史・松浦知和・相澤守、“アパタイトファイバースキャフォールドによる肝細胞の三次元培養”、日本セラミックス協会年会、岡山大学、日本セラミックス協会、2005.3.22-24

無機マテリアル学会

- 4) 山本宏明・相澤 守、“尿素とウレアーゼとの酵素反応を利用した水酸アパタイトの合成とその形態”、無機マテリアル学会第110回学術講演会、工学院大学（新宿）、無機マテリアル学会、2005.6.2-3
- 5) 田邊晴久・相澤 守、“リン酸カルシウムファイバーからの生体吸収性スキャフォールドの作製とその評価”、無機マテリアル学会第110回学術講演会、工学院大学（新宿）、無機マテリアル学会、2005.6.2-3
- 6) 宮崎玲充・相澤 守、“*a*面を多く露出したアパタイトセラミックス上で培養した骨芽細胞の接着・増殖とその形態”、無機マテリアル学会第110回学術講演会、工学院大学（新宿）、無機マテリアル学会、2005.6.2-3

日本セラミックス協会秋季シンポジウム

- 7) 相澤守・内田寛・神澤信行・本田みちよ・松本守雄・森末光・戸山芳昭、“アパタイトファイバースキャフォールドの分化誘導とナノ構造に関する一考察”、日本セラミックス協会秋季シンポジウム、大阪府立大学、日本セラミックス協会、2005.9.27-29
- 8) 大野俊樹、江本精、鹿又宣弘、相澤 守、“リン酸三カルシウム微小球による薬剤の担持および *in vitro* 除放評価”、日本セラミックス協会秋季シンポジウム、大阪府立大学、日本セラミックス協会、2005.9.27-29
- 9) 宮下敏行、竹岡裕子、陸川 政弘、相澤守、“リン酸三カルシウム/ポリ乳酸ハイブリッドの作製と力学特性”、日本セラミックス協会秋季シンポジウム、大阪府立大学、日本セラミックス協会、2005.9.27-29

ISIPM

- 10) Mamoru Aizawa, Atsushi Ono, Toshiki Ohno and Pak-Kon CHOI, “Synthesis of Calcium-phosphate Microsphere with Well-controlled Particle Size by Ultrasonic Spray-pyrolysis Technique and Their Sinterability”, 5th International Symposium on Inorganic

Phosphate Materials 2005, Japanese Association of Inorganic Phosphorus Chemistry, Kasugai, Japan, September 6-8, 2005.

- 11) Naoko Igeta, Tsuyoshi Katakami and Mamoru Aizawa, "Fabrication and Characterization of the Apatite-fiber Scaffolds with Enhanced Mechanical Property Using Apatite Gels as a Sintering Agent", 5th International Symposium on Inorganic Phosphate Materials 2005, Japanese Association of Inorganic Phosphorus Chemistry, Kasugai, Japan, September 6-8, 2005.

Asian BioCeramics Symposium (ABC2005)

- 12) Atsushi Hiramoto, Tomokazu Matsuura, Mamoru Aizawa, "Three-dimensional cell culture of hepatocytes using apatite-fiber scaffold and application to hybrid artificial liver", 5th Asian BioCeramics Symposium (ABC2005), Sapporo, Japan, October 1-3, 2005.

日本バイオマテリアル学会

- 13) 相澤 守・秋山祐子・岡田勲、"キレート硬化型骨修復セメントの力学特性に及ぼす粒子径の影響"、第 27 回日本バイオマテリアル学会大会、京都テルサ、日本バイオマテリアル学会、2005.11.28-29.
- 14) 山本宏明・相澤 守、"酵素反応を利用した板状アパタイトの合成とそのキャラクターゼーション"、第 27 回日本バイオマテリアル学会大会、京都テルサ、日本バイオマテリアル学会、2005.11.28-29.
- 15) 宮下敏行・竹岡裕子・陸川政弘・相澤 守、"酵素重合法による TCP/PLLA ハイブリッドの作製とその評価"、第 27 回日本バイオマテリアル学会大会、京都テルサ、日本バイオマテリアル学会、2005.11.28-29.

無機マテリアル学会

- 16) 田邊晴久・相澤 守、"リン酸三カルシウムファイバースキャフォールドの *in vitro* 溶解性"、無機マテリアル学会第 111 回学術講演会、岡山大学、無機マテリアル学会、2005.11.10-11.

18th Bioceramics (ISCM)

- 17) Mamoru Aizawa, Nelesh Patel, Alexandra E. Porter, Serena M. Best and William Bonfield, "Syntheses of silicon-containing apatite fibres by a homogeneous precipitation method and their characterization", 18th International Symposium on Ceramics in Medicine (ISCM), Kyoto Japan, 5-8 December 2005.
- 18) Akimitsu Miyazaki and Mamoru Aizawa, "Adhesion, proliferation and morphology of osteoblasts cultured on apatite ceramics with preferred orientation to *a*-plane", 18th International Symposium on Ceramics in Medicine (ISCM), Kyoto Japan, 5-8 December 2005.

- 19) Toshiki Ohno and Mamoru Aizawa, "Effect of the concentrations of the starting solution on the syntheses and powder properties of hollow tricalcium-phosphate microspheres by ultrasonic spray-pyrolysis technique", 18th International Symposium on Ceramics in Medicine (ISCM), Kyoto Japan, 5-8 December 2005.

生体関連セラミックス討論会

- 20) 井桁直子・相澤守、“アパタイトゲルによる高強度化アパタイトファイバースキャフォールドの作製と *in vitro* 評価”、第9回生体関連セラミックス討論会、日本大学（駿河台校舎）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2005.12.1-2.
- 21) 吉川哲史・相澤守、“キレート硬化型アパタイトセメントの力学特性”、第9回生体関連セラミックス討論会、日本大学（駿河台校舎）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2005.12.1-2.
- 22) 宮崎玲充・湯本みどり・神澤信行・相澤守、“*a*面を多く露出したアパタイトセラミックスに対する骨芽細胞様細胞の細胞応答性”、第9回生体関連セラミックス討論会、日本大学（駿河台校舎）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2005.12.1-2.
- 23) 山本宏明・相澤守、“尿素とウレアーゼを用いた板状アパタイトの合成とそのキャラクターゼーション”、第9回生体関連セラミックス討論会、日本大学（駿河台校舎）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2005.12.1-2.
- 24) 女屋尚紀・大野俊樹・崔博坤・相澤守、“超音波噴霧熱分解法により合成した水酸アパタイト微小球の粒径に及ぼす超音波振動数の影響”、第9回生体関連セラミックス討論会、日本大学（駿河台校舎）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2005.12.1-2.
- 25) 田邊晴久・大淵敦司・中村利廣・相澤守、“リン酸三カルシウムファイバースキャフォールドの溶解性－HEPES 緩衝溶液中における Ca^{2+} および PO_4^{3-} イオンの溶解挙動－”、第9回生体関連セラミックス討論会、日本大学（駿河台校舎）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2005.12.1-2.
- 26) 平本篤司・松浦知和・神澤信行・相澤守、“アパタイトファイバースキャフォールドによる株化肝細胞の三次元培養とラジアルフロー型バイオリクターへの応用”、第9回生体関連セラミックス討論会、日本大学（駿河台校舎）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2005.12.1-2.

日本セラミックス協会年会

- 27) 相澤守・平本篤司・松本守雄・松浦知和、“再生医療を支援するアパタイトファイバースキャフォールドの開発”、日本セラミックス協会 2006 年年会、東京大学（駒場キャンパス）、日本セラミックス協会、2006.3.14-16.
- 28) 木田弘毅・堀口悠紀子・田村貴志・織部一弥・相澤守、“キレート硬化型アパタイトセメントの骨芽細胞を用いた生体適合性評価”、日本セラミックス協会 2006 年年会、東京

大学（駒場キャンパス）、日本セラミックス協会、2006.3.14-16.

- 29) 宮崎玲充・神澤信行・相澤守、“骨芽細胞の接着および形態に及ぼすアパタイトセラミックス結晶面の影響”、日本セラミックス協会2006年年会、東京大学(駒場キャンパス)、日本セラミックス協会、2006.3.14-16.